

# 第240回鳳雛講座 令和5年10月4日(水)

10月4日(水)に、今年度5回目の鳳雛講座を行いました。講師は、音楽クリエイターの日景健貴(ひかげけんき)さんが務めてくださいました。日景さんは大館市出身で、1stアルバム『美的情操』の収録楽曲が「化粧品はせがわ」TVCMや映画館「御成座」のイメージソングに採用されています。また、エフエム秋田「日景健貴の1WEEK 1 CHANGE」とラジオおおだて「日景健貴のMusic Archive」にてパーソナリティも担当しています。講話では、音楽クリエイターという仕事を選んだ理由や、仕事への向き合い方をお話くださり、参加した生徒たちは熱心に聴き入っていました。講話後には、積極的に質問したり感想を述べたりする一中生や保護者の姿が見られ、今回も大変充実した鳳雛講座となりました。

## ○講話の主な内容

- なぜこの仕事を選んだのか・・・

日景さんはもともと楽譜も読めず人前で歌うことも得意ではなく、音楽＝苦手という意識があった。歌手の秦基博さんの楽曲に触れ、独学でギターを始めて、学校祭のライブステージで初めて人前で披露した。そのとき、「勇気を出した時に大きな達成感を味わった」ことが今につながっている。また、自分でドット絵でキャラクターを作るなど、パソコンに熱中した中学時代が今の音楽作成に活かしている。「夢中になって身に付けた技術を他の分野でも活かした」こともクリエイターとして活躍できている一つの要因である。そして「誰かの助けとなる音楽を作ることに生きがいを感じた」ことがあげられる。答えのないことに正解を出す楽しさを見いだししている。何事も遅すぎるということはないが、早く始めることは有利になる。

- この仕事への向き合い方・・・

「クライアントを第一に考え、責任を全うする」

「感謝の気持ちを忘れない」

「多くの無駄なことを無駄にしないためのCreativity」

YouTubeに「好きなことで生きていく」とあるが、そのためには覚悟と責任が必要になる。大館市を拠点として場に合った、人に合った曲を作成していくことで地元で恩返ししていきたい。

## ○結びに

やりたくないこと、苦手なことからは簡単に逃げることができる。その中で、どう克服するか、どう楽しくするかを考えて視野を広げて挑戦することが大切だ。人前が苦手でも何度も繰り返し乗り越えていければ、必ずいいことがある。夢が叶う。自分の経験が、これから皆さんが新しいことを始めるヒントになればと思う。

## ○生徒の感想から

- 自分の好きなことを仕事とするのではなく、挑戦したことを仕事として今でもやりがいにつながっていることがすごいと思った。
- 誰かの助けになる楽曲を作りたいという人を思う気持ちは、どの仕事にも大切な気持ちだと思った。
- 幅広い分野の知識は、いろんな可能性に結びついている。結びつけるのは自分自身が勇気をだすことから始まるのだと学んだ。自分も多くのことに挑戦して可能性を広げていきたい。





